

石井だより

# 清流

2022.2  
第27号

編集発行

石井地区まちづくり推進協議会

事務局

石井地域コミュニティセンター内  
〒321-0912 宇都宮市石井町1213

電話 028-662-6833



大島地区どんど焼きの様子

今年も年神様が空に帰る  
心に<sup>ほむら</sup>炎を灯して  
遠い未来まで

石井地区まちづくり推進協議会では、表紙の写真及び各单位自治会・育成会からの情報ならびにシリーズ「私の趣味」の投稿を募集しています。自薦他薦を問いません。事務局までお知らせください。

## ペタンクのまち石井



年忘れペタンク大会



四地区対抗  
ペタンク大会



各地区市民センター長も  
駆けつけてくれました



ひばり杯シングルペタンク大会

今年度もペタンクを通して健康づくりを進めてきました。コロナ禍にあって、感染対策との両立という難しい運営でしたが、参加者の皆様のご協力のおかげをもちまして、楽しく活動できました。年忘れペタンク大会では、石井小の先生方・児童の皆様にも参加していただき今後ますますの盛り上がりを期待するところです。



宇都宮市ペタンク大会



東峰南ペタンク場安全祈願

## ご長寿 100歳おめでとうございます！



生子下 國分ミヨさん



石井西 木村フヂエさん

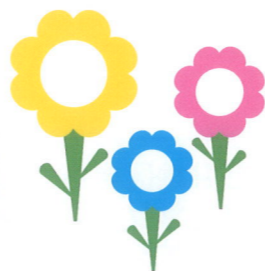
敬老の日に合わせて、内閣総理大臣・栃木県知事・宇都宮市長から6名の方が100歳の表彰を受けました。ご長寿の秘訣は深く結ばれたご家族との愛情でしょう。石井地区はこれからも人生100年時代を元気に楽しく過ごせるように、地域力を磨いて参ります。



東峰南 高木シモさん(ご家族)



東峰南 高橋雅子さん



## コロナに負けずに地域の伝統を守る！



岡自治会どんど焼き



下川岸自治会どんど焼き

今年も各自治会でどんど焼きが行われました。感染対策のために自治会員のみを対象にし、規模や時間を検討した上で、安全に運営されていました。「一日も早く日常を取り戻す」という願い胸に、炎を見つめていました。



西組自治会どんど焼き



久保田自治会『おひまち』

令和4年1月9日(日)久保田自治会公民館にて、地区住民の健康と豊穰を願う神事『おひまち』が行われました。マスク着用の徹底など感染対策に万全を期しました。



下川岸自治会『大杉神社祭り』

令和3年7月25日(日)下川岸自治会「大杉神社」で夏祭りが行われました。「来年は子どもたちが楽しめる、『いつも通りの夏祭り』になることを祈ってます。」と自治会長の菊池譲さん。伝統を繋ぐことの大切さを感じます。

# 石井地区と石井小



高橋司校長先生

## 地域の一員として

2022年4月、成年年齢が18歳に引き下げられます。18歳で、社会の一員としての自覚をしっかりと持たなければなりません。

集団の中での自分の役割や責任を自覚しながら、子供の責任ある行動や自立を促すために、学校では様々な場面を通して「集団の一員」としての経験を積ませています。集団の基本は家族。家族の一員として自分に何ができるかといった学習をはじめ、クラスの一員として責任ある行動を学ぶ係活動や当番活動。遠足や修学旅行などの場面を通して、同学年の一員として、あるいは学校の一員としての自覚を学ぶ活動。そして、地域の自然や歴史、文化など、郷土愛と誇りをもった地域の一員としての自覚をもつ活動。小さな集団の一員からやがて社会の一員としての自覚に目覚めるよう、カリキュラムを組んでいます。

## これからの石井地区のまちづくり

昨年12月、宇都宮市長と石井地区の各種団体代表・自治会長の皆さんにより、「まちづくり懇談会」が開催され、私も拝聴させていただきました。地域の皆さんの石井地区に対する思いや未来のまちづくりへの期待が語られ、感銘を受けるとともに、子供たちの将来にわたる持続可能なまちづくりの実現のために、ぜひ、子どもたちにも伝えたいと思いました。

そこで、来年度のカリキュラムに次のことを位置付けようとして計画しています。

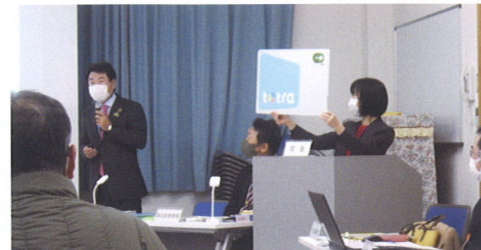
1つ目は「ペタンクの町石井」をより啓発することです。昨年12月の「石井地区年忘れペタンク大会」で交流する皆さんを見て、あらためて石井はペタンクの町なんだなあと思いました。

2つ目は、「石井地区の公共交通機関」についてです。地域で支え運営している「スマイル石井号」「ぐるっと石井号」は地域の自慢としてぜひ子供たちに知ってほしい。この石井だより清流にも何度も紹介されました。石井小の子供たちもネーミングにかかわったとい聞いております。

3つ目は、「自治会・育成会についての理解」です。地域のつながりが希薄になりがちな昨今、石井地区にある自治会や育成会の役割、意義などを学ぶことはとても大切なことであると感じました。

## 地域とともにある学校づくり

宇都宮市では「地域とともにある学校づくり」を推進しています。これまでも地域の皆様には、授業や環境づくりボランティア、交通安全にかかわる見守りなどたくさんのご支援をいただきましたが、教育を通したまちづくりという視点からも関わりを深めたいと思います。



宇都宮市の未来像について説明する  
佐藤市長（まちづくり懇談会）



石井地区自治会連合会  
伊原会長による地域代表挨拶



石井小児童の『まち探検』の課外授業



菊池芳夫さんによる  
『石井地区の歴史』の授業

# メダカプレゼント！！



理科室に設置されたメダカの水槽

石井地区に事務所を構える（株）足場やビッグの藤井社長から、メダカの飼育セット一式を寄贈いただきました。藤井社長は「コロナの影響で子どもたちの自然体験の機会も減っているのではないかと思います。喜んでくれたらうれしいです。」とのこと。

地域の皆様のおかげで、子どもたちは成長していきます。



（株）足場やビッグ 藤井社長

（株）足場やビッグ

住所 宇都宮市石井町3315-2  
電話 028-656-5656

# 石井地域公共交通からのお知らせ

日頃より、定時定路バス「ぐるっと石井号」やデマンドカー「スマイル石井号」をご利用いただきありがとうございます。

まだまだ新型コロナ感染拡大の状況下ではありますが、皆様に安心してご利用いただけますよう、引き続き宇都宮市の要請のもと運行事業者の協力を得て、乗客数の制限や車内の消毒などを行いながら運行しています。ご乗車の皆様には、引き続きマスクの着用などをお願いしておりますが、お出かけの際のより良い“足”となりますよう運行して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

デマンドカー「スマイル石井号」  
の令和4年度登録、受付中です

①「スマイル石井号」は、国道4号線以东にお住まいの方が対象で、事前の利用登録が必要です。

現在、目的施設が49施設に増え、より便利にご利用いただけるようになっております。登録のお申し込みは、各自治会長にお願いします。詳細は、国道4号線以东の各戸へ2月に配布の「利用登録者募集」のチラシをご覧ください。

4月から、「石井地域公共交通回数乗車券」を交付します

②宇都宮市在住の満70歳以上の方向けの支援事業で、同年度内におひとり様1回の申請・交付ができます。

石井地域公共交通では宇都宮市の高齢者外出支援事業「いきいき70」に参加し、「ぐるっと石井号」や「スマイル石井号」でお使いいただける「石井地域公共交通回数乗車券」を交付しています。助成対象の皆様には、「石井地域公共交通回数乗車券」または「交通系ICカード『totra』へのポイント付与」のどちらか一方を選んでいただけます。詳細は、3月に各戸へ配布のチラシをご覧ください。

令和3年度分が未申請の方は、3/31迄に平石地区市民センターへ  
(Tel:028-660-1964)

## ご利用のお客様の声

### 定時定路バス「ぐるっと石井号」

「ぐるっと石井号」が開通してから、週3回ほど利用しています。免許証を返納し、このバスが開通するまでは、石井街道のバス停まで歩いて出かけていました。

このバスは、家の近くにバス停があり、大変便利に利用しています。ベルモールでの友人とおしゃべりやお買い物など、楽しみも増えました。

1時間に1本運行され、待ち時間がなく、フリー乗車もできますし、回数券ができ便利になりました。

早くコロナが収束し、日常生活が戻るよう祈らずにはられません。 東峰在住 福田久代さん（70代）

### デマンドカー「スマイル石井号」

「スマイル石井号」はよく利用していますが、予定の時間にきちんと迎えに来てくれるので、大変便利です。 古城内自治会 増山キナさん（80代）

お買い物や通院など、週に1回は利用しています。運転手さんも親切で丁寧に対応して下さるし、時間もきっちりとしているので助かっています。もう少し、運行範囲が広がるといいですね。

福島自治会 山崎和子さん（80歳）

石井地域公共交通運営委員会（石井地域コミュニティセンター内）

# 石井小学校 魅力ある学校づくり地域協議会

## 「魅力ある学校づくり地域協議会」きずなです。

きずなでは、子供たちの心豊かな成長のためにボランティアの方々が様々な活動に取り組んでいます。

この活動の一つ水曜ボランティアでは、教室の壁面に季節に合った飾りを制作しています。今回は子供たちが大好きなポケモンとトトロを作りました。

花壇ボランティアでは、石井小学校職員玄関脇の花壇のお花植えを行っています。

色とりどりの元気なお花たちが、皆さまをお迎えしています。



花壇ボランティアの皆さん

学校ボランティアの醍醐味は、自分たちが出来ることをした結果子供たちが笑顔になってくれることです。校長先生をはじめ先生方からも感謝の言葉をたくさん頂いております。

子供たちの健やかな成長と笑顔のために、これからも活動してまいります。

地域コーディネーター 鈴木豊美 田中幸恵

## ボランティアさん募集中

### 令和3年度 活動報告

- ① 水曜ボランティア (毎週水曜日)
- ② 花壇ボランティア (年2回)
- ③ ミシンボランティア (年2回)

参加ご希望の方、ご興味のある方はどうぞお気軽にお問い合わせください。

事務局 石井小学校  
662-3003 大島副校長



地域協議会の会議風景



校舎内を可愛く飾りつけてくださいました



## 令和3年度を振り返って

石井地区自治会連合会会長 伊原成美

石井地区自治会の皆様におかれましては日頃より石井地区における様々な行事に際しまして、多大なるご支援並びにご協力を賜りまして心より厚く御礼を申し上げます。

令和3年度も3月末日で終了し、間もなく令和4年度を迎えようとしています。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大による自粛要請の為、4月開催予定の定期総会を中止とし書面決議により事業計画・予算等を決定して自治会連合会及び各種団体は活動をスタートすることになりました。

感染状況は長期化し「体育祭」「活力あるむらづくり」「防災訓練」等が中止となり、会員の健康づくりや世代を超えた交流と親睦の機会が減少して地域活動に多大な影響を及ぼしました。そのような中、石井地域内公共交通が4月から本格運行を開始し、地域住民の足となり、買い物・医療機関・公共施設等の利用に大変便利となりました。また、育成会主催の「宝探し」やペタンク協会主催の「年忘れペタンク大会」が開催され、石井小学校児童と教員、地域の方との交流が深まり、健康づくりも体験することができました。更には、1月に『賀詞交歓会』を開催し、各種団体長の皆様を交え有意義な意見交換を行うことができました。尚、新たな感染拡大により再び自粛生活を余儀なくされることとなりますが、感染予防対策をとり、この難局を乗り越え、新年度に進みたいと思います。

末筆ながら石井地区にお住いの皆様のご健康をお祈り申し上げます。

### (編集後記)

新たな感染症の脅威発生から2年、この間、地域行事がことごとく中止や延期に追い込まれました。そのような中であっても、「地域の伝統」と「人のつながり」を守るため、必死に踏みとどまる方々の姿があります。今まで、当たり前過ぎていた日々は、誰かに支えられてたのだと強く感じます。

他者に対する思いやり、優しさ、感謝の心があってこそ、この状況を乗り越えることができます。

これからも地域広報紙『清流』編集部一同は、ふるさと石井地区の姿を伝えて参ります。 編集長 今野哲也